

学校だより

National Institute of Technology (KOSEN), Ube College

vol. **110**

[2026. 01. 01]



[表紙の紹介] イラスト『宇部高専の冬』
山崎 花帆さん (制御情報工学科5年)

Contents

- 02| 校長室の窓から
- 03| 半年を振り返って
- 04| キャリア支援室からの留意事項
就職活動・進学活動に向けて
- 06| 後輩たちへのアドバイス
就職・進学活動を終えて
- 08| **情報教育棟について**
- 09| 新任教員の紹介
- 10| **国際交流活動報告**
- 12| 令和7年度 高専祭実施報告
- 13| **3年生工場見学**
- 14| ロボコン報告
- 15| プロコン／U-16 プロコン報告
- 16| 各種大会優秀者の報告／
UBE KOSEN TOPICS／意見箱について

校長室の窓から

「楽しい高専生活を送るために」

本校の教育理念の最初に「温かい人間性と豊かな国際性を備える」ことを掲げています。そのために、課外活動や国際交流にも注力しています。課外活動では、クラブ活動ばかりでなく、クラスマッチや高専祭などの行事、ロボコン、プロコンを始め各種コンテストにも積極的に参加しています。これら様々な経験を経て皆さんが温かい人間性が形成されることを願っています。

今年の中国地区高専体育大会団体では、バスケットボール女子、バドミントン男子、硬式テニス男子・女子、卓球女子が優勝し、個人も含めると10競技が全国大会に進出しました。全国大会でも硬式テニス女子団体優勝、女子ダブルス、男子ダブルス、水泳女子100m背泳ぎで優勝するなど活躍しています。また将棋でも全国優勝しています。プログラミングコンテストでも課題部門、自由部門、競技部門の全競技で全国大会に出場し、自由部門では企業賞もいただきました。

中国地区高専体育大会後の
バドミントン部の皆さん



今年度の夏休みには72名の学生が海外留学し、発表会ではその成果を披露してくれました。得難い貴重な体験を通し、参加した学生たちの成長をまぶしく感じました。来春にも28名程度の学生が海外留学されると聞いています。本校には現在12名の長期留学生と多くの短期留学生が在学しています。これらの留学生にも積極的に声をかけオンキャンパスでの国際交流を期待しています。



日台カンファレンス

「創造的目標に対して常に向上心をもって、果敢に粘り強く努力を傾注できる人材」の育成も本校の教育理念となっています。そのためには、日々の課題をその日のうちにコツコツと実施することが重要です。計画を立てて課題、高専祭などをこなしていくことで、少しずつ実力がつきます。また計画を立てて実施する訓練をしておくことで将来のチームプロジェクトでも大いに役立ちます。しかし計画を立てても計画通りに行かないことがほとんどです。その都度、計画を見直し、次回の計画に生かす経験も重要です。

宇部高専の特徴的な授業にプロジェクト学習や地域教育があります。プロジェクト学習はチームで学びあいながら問題解決を図るPBL (Project/Problem Based Learning) 型の授業です。今年は全31テーマに対して2年生から5年生の計607名が学年学科横断型チームを組んで参加しました。地域教育は、出前授業型と地域課題解決型に大別されます。出前授業型は、各学科の専門性を活かした授業を小中学校に出向いて実践します。一方で、地域課題解決型は、地域から与えられる課題或いは自らが発見した地域の課題に対して、年間を通した取り組みによって解決策を提案して実践します。

現在、正門横に情報教育棟が建設中です。これは、皆さんのDXスキル向上のためのものです。皆さんが卒業されるときには、基盤となる専門に加えて、グローバルマインドとDXマインドを身に付けていることを期待しています。

「相手の立場になって考えてから話したり、率先して挨拶すること」をいつも心がけるようお願いしています。会話やSNSなどで、一呼吸おいて相手の立場を考えてから発言するとよりよい人間関係が構築でき楽しい高専生活につながります。人間関係で悩むのは、自分だけでなくほぼ全員が経験することです。大切なことは、自分一人で悩まないことです。周りの人に助けを求めることをためらわないでください。

以上、「国際交流活動など様々なことにチャレンジしてほしい」「課題はその日のうちに」「相手の立場になって考えてから話したり、率先して挨拶すること」ということを心に留めて、楽しい高専生活を過ごしてほしいと思っています。

宇部工業高等専門学校

校長 金寺 登

KANEDERA Noboru

校長補佐【教務主事】

碓 智徳

IKARI Tomonori



第4学期が始まり、今年度も残すところ数か月となりました。今秋には寒さが増すにつれて、全国的にも学内においても季節性インフルエンザが流行し、幾つかのクラスが学級閉鎖となりました。引き続き、体調管理には十分にお気をつけください。

さて、昨年度に選定された「令和6年度大学・高専機能強化支援事業（支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」により、令和8年度の入学生から、学科改組及びコース設置を計画しています。また、社会の要請に対応し、数理・データサイエンス・AI教育を実施し、今年度には文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」リテラシーレベルに続いて、全学科において応用基礎レベルの認定をうけることができました。これらの取組を受けて、地域と連携した地

域密着型情報人材育成を推進し、高度な専門性と情報技術力を備えた人材を育成して参ります。

さらに、世界を舞台に活躍するためのグローバル教育や社会の変化に対応し新たな価値を創造するためのアントレプレナーシップ教育を進めております。グローバル教育では、今夏の語学・海外研修にも多数の学生が参加し、加えて本校の学術交流協定校より短期留学生を受け入れており、オンキャンパスにおいて多くの学生が異文化交流の機会を得ています。アントレプレナーシップ教育では、プロジェクト学習や地域教育などの機会を活用し、チームで課題解決に向かって挑戦した成果を様々なコンテストに申請し、発表する機会を得ています。

以上のような様々な機会を活用し、なりたい自分になれるように、健全で自発的な学びにより目標を達成してもらえるように努めて参ります。保護者の皆様におかれましても、お子様の活動を見守り頂き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、何卒、よろしくお願い致します。



校長補佐【学生主事】

藤田 活秀

FUJITA Katsuhide



今年度の学校生活も半分を過ぎました。保護者の皆様には日頃より学生の活動にご支援を賜り、感謝致しております。

学生部では「学生会活動の活性化」から「学生会活動の進化」にスローガンを変えて活動を進めております。中学校では「部活動の地域移行」が進められておりますが、本校では部活動の教育効果を鑑み、部活動に係る教員の負担軽減を図るとともに、課外活動指導員のコーチング面での質保証により、課外活動の環境整備を進展させるために、日本体育大学と「学校部活動の地域協働・融合に関する包括連携協定」を今年の6月に締結致しました。7月上旬に行われた中国地区高専体育大会では、団体と個人を合わせると13種目中10種目で全国大会の出場権を獲得し、8月に行われた壮行会では、後援会に横断幕

製作の承認をして頂き、盛大な壮行会となりました。横断幕は、本校グラウンドに面したフェンスに年内は掲示しております。この他にもロボコンやプロコン、プレコン等で素晴らしい成績を収めており、宇部高専のホームページにも掲載されておりますので、是非ご確認ください。11月上旬に行われた高専祭においては、昨年から始めた学生会による前夜祭の企画、後援会の露店への出店、同窓会によるホームカミングデーの企画に加えて、小中学生を対象とした陸上教室を開催し、大変盛況で活気のある高専祭になりました。

学生部では「厚生補導の強化」にも取り組んでおりますが、学生の処分は現時点で8件と昨年に比べて増大しており、その内、いじめ案件が3件となっています。本校では家庭・地域・関係機関と連携の下、「いじめは絶対に許されない」との雰囲気学校に醸成し、いじめの防止等の対策に務めておりますので、保護者の皆様におかれましては引き続きのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



校長補佐【寮務主事】

池田 晶

IKEDA Akira



日頃より白鳥寮の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。寮訓である「自律・友愛・協調」の精神のもと、寮生一人ひとりが成長できる教育寮の実現を目指し、引き続き運営に努めております。

後期に入り、コロナやインフルエンザに感染する学生が増えてきておりますが、これからの季節は特に、インフルエンザの蔓延が懸念されます。規則正しい生活と、みだりに他の居室を訪れない等、寮内における感染対策に留意して参りたいと存じます。万一、コロナやインフルエンザに罹患した場合には、感染拡大防止の観点から、原則として帰省をお願いしております。ご送迎が難しい場合もあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

白鳥寮では寮生による自治を目指した指導を行っています。自治の中心となるのは、寮生会です。7月に寮生会の選挙が実

施され、第64代会長として物質工学科4年城石こゆきさん、副会長として物質工学科4年梅光莉帆さん、制御情報工学科3年今村多壱さんが選出されました。変化の多い寮生活の中で大変なこともあるかも知れませんが、皆さんのチームワークでより良い学生寮になることを期待しています。また、専攻科生産システム工学専攻2年杉山恭介さん、制御情報工学科5年川畑和樹さんをはじめとする前役員の皆さんの尽力に感謝したいと思います。

さて、寮では集団生活を安全に送るために様々な規則がありますが、今年度は停寮等の処分件数が昨年度より増加しております。寮生会の学生たちは、自身の時間を割いて寮生に声掛けをしながら寮内の規律維持に尽力してくれております。寮生の皆様には、規則の意義を今一度心に留め、集団生活におけるルール遵守の大切さを考えてもらいたいと思います。寮務部としても、引き続き寮生への声掛けと指導に取り組んでまいります。

保護者の皆さまにおかれまして、ご家庭でのご支援とご協力を賜りますよう、引き続きお願い申し上げます。

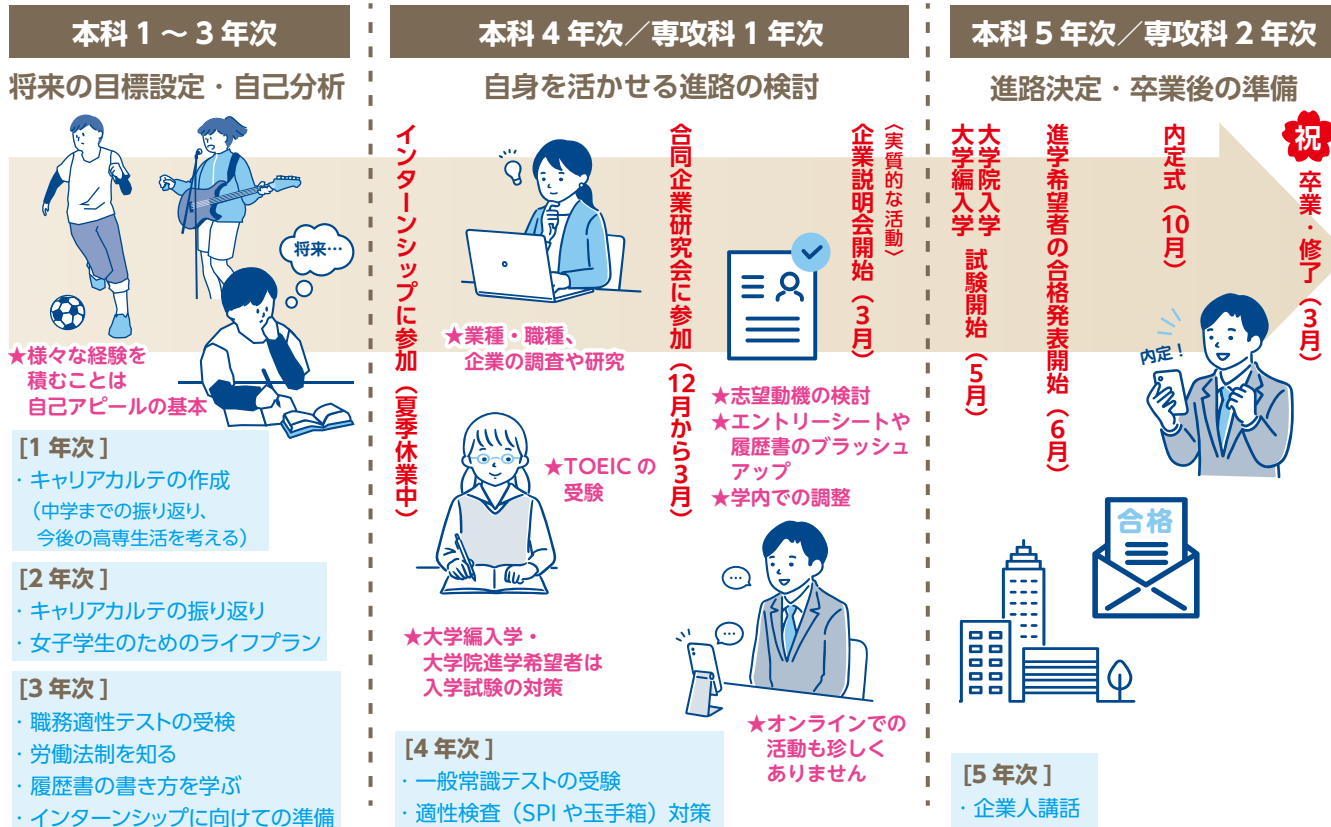


就職活動・進学活動に向けて

キャリア支援室からの留意事項

本校で実施している5年間（専攻科の場合は2年間）のキャリア教育を示したものが下図となります。1～3年次ではキャリア教育に関する授業の中で、将来の目標設定とその振り返り、および自己分析を行います。4年次では自己分析により特性を知った上で自身を生かせる業種・職種や企業の調査を行い、5年次に就職活動や進学活動に臨みます。

進路決定について、特に4年生は冬休み中にご家庭内で十分に話し合う機会を設けてください。希望する進路をより確実なものにするためには、企業（競合企業も含む）や大学等の情報を早期に収集することが重要です。



就職活動

4年生の年度末である3月より、実質的な活動（各企業の説明会等）が開始されます。そのため、4年生の12月頃までに希望企業を調査・研究し、2月末までに企業を絞り込む必要があります。

進学活動

専攻科を含め多くの大学が5月以降に試験を実施します。進学を希望する学生は、4年生の夏休み前に志望大学・学科を決定できるようにすると、余裕を持った活動ができます。TOEICの公式スコアを条件とするところもありますので、4年次末までに必要とするスコアを入手できるよう準備してください。

キャリア支援室からのお知らせ

キャリア支援室長
田川 晋也
TAGAWA Shinya

令和7年度の就職・進学活動に向けて、キャリア支援室では学生の進路選択をより充実させるための取り組みを進めています。

1. 先輩方の就職・進学感想文の活用

従来からキャリア支援室では、過去に卒業した先輩方が記した就職・進学に関する感想文を閲覧できるよう整備しています。実際の体験談を読むことで、企業選びや進学先決定の参考になります。ぜひ積極的に活用してください。

2. キャリアサポートシステムの導入

新たに導入する「キャリアサポートシステム」により、求人票や企業情報の検索・閲覧がオンラインで簡単にできるようになります。学生の皆さんは2026年3月1日より利用が可能になります。企業研究や応募準備がよりスムーズになります。

3. 進路相談体制の充実

就職関係の指導は、主に各学科の就職担当教員が精力的に

行っております。キャリア支援室では、教育コーディネーターによる対面・オンライン相談を継続して実施しています。進路に関する疑問や不安があれば、気軽に相談してください。

進路決定に向けて、情報収集と準備を早めに始めることが重要です。キャリア支援室の資料コーナー（図書館棟1階食堂側入口横）には、HPだけでは得られない就職・進学に関する情報がありますので活用してください。

4. キャリアイベントの充実

従来から、企業ブースで業界や採用情報を学ぶ「合同企業研究会」を実施し、機会を提供してきましたが、本年度からの新たな取り組みとして、県内企業見学会を実施しています。実際の職場を訪問して現場の雰囲気や社員との交流を通じて地域企業の魅力を体感することができます。さらに、1・2年生を対象に「県内就職の魅力を知る講話」や地元企業で働くOB・OGとの座談会を開催し、就職活動の心構えや県内で働くメリット、高専生のキャリア形成を学べる場を設けましたので奮って参加してください。

本科／専攻科就職・進学状況

[2025年10月31日現在] 就職内定先・進学内定先は50音順に表記、丸数字は内定者が複数いるときの人数

機械工学科

求人会社数 801社
就職希望者数 22人 (1)
進学希望者数 13人
就職内定者数 22人 (1)
進学内定者数 12人
() は女子内数

【就職内定先】

アイリスオーヤマ(株) ②
キャノンマーケティングジャパン(株)
JFEスチール(株)西日本製鉄所
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)
中国電力(株)
パナソニックコネクト(株)
村田機械(株)
(株)宇部情報システム
キャノンメディカルシステムズ(株)
(株)シマノ
ダイキン MR エンジニアリング(株)
トーテックアメニティ(株)
フードテクノエンジニアリング(株)
UBE マシナリー(株)
鹿島建設(株)
キリンビール(株)
(株)SCREEN グラフィックソリューションズ
ダイキン工業(株)
TOTO バスクリエイト(株)
三菱重工機械システム(株)
(株)LIXIL

【進学内定先】

宇部高専生産システム工学専攻 ⑦
東京農工大学工学部
九州工業大学工学部
豊橋技術科学大学工学課程 ②
熊本大学工学部

電気工学科

求人会社数 833社
就職希望者数 32人 (1)
進学希望者数 11人
就職内定者数 32人 (1)
進学内定者数 11人
() は女子内数

【就職内定先】

関西電力(株)・関西電力送配電(株)
JFEプラントエンジニア(株)
中国電力(株)
(株)ティーユーエレクトロニクス
トヨタ自動車九州(株)
日本電機(株)
広島県職員
三菱電機エンジニアリング(株)
三菱電機モビリティ(株)姫路製作所
UBE(株) ②
キャノンメディカルシステムズ(株)
(株)JERA
中国電力ネットワーク(株)
(株)TMEIC
日研トータルソーシング(株)
パナソニック(株)
富士電機(株)
三菱電機ビルソリューションズ(株)
安川オートメーション・ドライブ(株)
LIXIL(株)
サントリー食品インターナショナル(株)
ダイキン工業(株)
中部電力(株)
東ソー(株)
日鉄ケミカル&マテリアル(株)
パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション(株)
三菱重工工業(株) ②
三菱電機プラントエンジニアリング(株)
(株)安川電機
レンゴー(株)防府工場

【進学内定先】

宇部高専生産システム工学専攻 ⑤
豊橋技術科学大学工学課程
九州工業大学工学部
山口大学工学部 ②
熊本大学工学部 ②

制御情報工学科

求人会社数 776社
就職希望者数 26人 (3)
進学希望者数 16人 (1)
就職内定者数 25人 (3)
進学内定者数 15人 (1)
() は女子内数

【就職内定先】

アスクル(株)
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
(株)NTTデータフロンティア
(株)キャンドゥコンセプト
JASM(株)
西日本旅客鉄道(株) ②
(株)日立ハイシステム 21
(株)U-NEXT HOLDINGS
アマゾンジャパン合同会社
(株)インフォコム西日本
NTTドコモソリューションズ(株)
警察庁(東京都警察情報通信部)
(株)JALエンジニアリング
パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション(株)
ファナック(株)
(株)ラック
AMEC コンサルタンツ(株)
NEC ネットエスアイ(株)
花王(株)
シークス(株)
中国電力ネットワーク(株)
浜松ホトニクス(株)
富士ソフト(株)
(株)レアゾンホールディングス

【進学内定先】

宇部高専生産システム工学専攻 ⑨
長岡技術科学大学工学課程
九州工業大学情報工学部 ②
豊橋技術科学大学工学課程 ②
広島大学情報科学部

物質工学科

求人会社数 602社
就職希望者数 24人 (12)
進学希望者数 16人 (11)
就職内定者数 23人 (12)
進学内定者数 16人 (11)
() は女子内数

【就職内定先】

味の素(株)
(株)カネカ
沢井製薬(株)
下関三井化学(株)
第一三共(株)
テルモ山口(株)
日本製紙(株)
UBE(株)
出光興産(株)徳山事業所
京セラ(株)鹿児島国分工場
サントリー(株)
積水化学工業(株)
ダイキン工業(株)
東レ(株)
日本ゼオン(株)川崎工場
(株)レゾナック 徳山事業所
エスケー化研(株)
キリンビール(株)神戸工場
CTCシステムマネジメント(株)
千寿製薬(株)
太陽ファルマテック(株)
(株)トクヤマ
丸善石油化学(株)

【進学内定先】

宇部高専物質工学専攻 ④
豊橋技術科学大学工学課程 ③
山口大学工学部 ③
岡山大学工学部
長岡技術科学大学工学課程 ②
筑波大学生命環境学群
広島大学生物生産学部

経営情報学科

求人会社数 637社
就職希望者数 28人 (24)
進学希望者数 9人 (5)
就職内定者数 28人 (24)
進学内定者数 9人 (3)
() は女子内数

【就職内定先】

(株)AXSEED
宇部市役所
(株)カネカ
コベルコソフトサービス(株) ②
(株)翔洋
(株)トクヤマ
日本ファブテック(株)
(株)日立ハイテクフィールドイング
UBE(株)
インフォコムテクノロジーズ(株) ②
NEC ネットエスアイ(株)
KM バイオロジクス(株)
(株)三晃空調
(株)セゾンテクノロジーズ
(株)ニシコン
(株)日立情報通信エンジニアリング
(株)福岡銀行
ローム・アポロ(株)
(株)宇部建設コンサルタント
(株)NSD
京セラコミュニケーションシステム(株)
CTCテクノロジーズ(株)
TOPPAN(株)
西日本旅客鉄道(株)
(株)日立ハイシステム 21
横河ソリューションサービス(株)

【進学内定先】

宇部高専経営情報工学専攻 ⑤
九州大学経済学部

生産システム工学専攻

求人会社数 729社
就職希望者数 9人
進学希望者数 7人
就職内定者数 8人
進学内定者数 4人

【就職内定先】

サンリツオートメーション(株)
(株)トクヤマ
パナソニックエナジー(株) ②
パナソニックオートモーティブシステム(株) ②
マブチモーター(株)
UBE(株)

【進学内定先】

九州工業大学大学院生命体工学研究科 ②
九州大学大学院総合理工学府 ②

経営情報工学専攻

物質工学専攻

求人会社数 522社
就職希望者数 4人 (3)
進学希望者数 2人
就職内定者数 4人
進学内定者数 2人
() は女子内数

【就職内定先】

Sustainable Food Asis(株)
(株)トクヤマ
帝人ファーマ(株)岩国事業所
(一社)日本血液製剤機構

【進学内定先】

山口大学大学院創成科学研究科 ②

【就職内定先】

求人会社数 563社
就職希望者数 6人 (6)
進学希望者数 0人
就職内定者数 6人
進学内定者数 0人
() は女子内数
キャノンメディカルシステムズ(株)
(株)トクヤマ
テルモ山口(株)
山口県庁
東芝 IT サービス(株)
UBE(株)



機械工学科 5年

柿並 俊之



私は、この度 TOTO バスクリエイト株式会社様に内定をいただきました。就職活動を進める中で大切だと感じたことを紹介します。

まず、早くから行動を始めることです。就職活動の解禁は3月1日ですが、それより早くからでも準備を始めることはできます。インターンシップや各所で行われる企業研究会、自己分析もその一つです。一次採用試験の時期は会社によって様々で3月中旬に行われる企業もあります。早めに準備を進めておけば、時間に追われることなく、余裕を持って本番に臨めるため、自信にもつながります。

次に、興味のある業界や会社について詳しく調べることです。就職したい会社について調べるだけでなく、競合他社についても調べることで会社ごとの違いを理解することができます。そうすることで、面接で優位性を聞かれたときや受ける会社を見極めるときなどに役立つと思います。

最後になりますが、自信をもって面接に臨むことが何よりも大切です。自分の強みを信じて、ベストを尽くせるよう頑張ってください。

物質工学科 5年

山田 翠莉



私はこの度、株式会社カネカ様より内定をいただきました。就職活動を通して「やってよかったこと」を2つ紹介させていただきます。

1つ目は、3年生までに自分が興味のある職種を見つけ、企業の目星をつけておくことです。これにより目的をもって合同企業説明会やインターンシップに参加できます。特にインターンシップでは、HPではわからない実際の企業の雰囲気や業務内容に加え、社員の方々の話を聞くことができるため、この企業に本当に就職したいか、社風に合っているか、などを確かめることができます。そのため、企業選びや面接に役立つ積極的な活動をお勧めします。

2つ目は、エピソード作りです。面接では志望動機他に、ガクチカや自己PRなどを聞かれます。結論だけでなく、それを裏付けするような具体的な経験を話すことで、面接官と“対話”をすることができます。自分の経験だからこそ、急な質問にも根拠をもって答えることができ、面接での説得力を高めることができました。

最後になりますが、何事も後回しにせず早めに取り組むことをお勧めします。

電気工学科 5年

金澤 響己



この度、UBE 株式会社様より内定をいただきました。ここでは、私が就職活動を通して重要だと感じたことを紹介いたします。

1つ目は企業研究と面接練習に積極的に取り組むことです。インターンシップに限らず、一般の方向けのイベントにも参加し企業が大切にしている価値観や姿勢を理解する事に努めました。そして、それらの企業の特徴と自分の強みがどのように結びつくのかを面接練習を通して整理しました。

2つ目は就職活動に関わってくださった方々への感謝を忘れないことです。宇部高専が多く企業から信頼されているからこそ私も推薦応募で挑戦する機会をいただけたと感じています。その背景には企業に丁寧に対応されている就職担当教員の方々のご尽力があります。だから推薦応募ができる環境への感謝、宇部高専の看板を背負う一人であるという自覚が大切だと思います。

最後になりますが、ぜひ色々なことに挑戦してください。宇部高専は他高専と比較しても課外活動が非常に充実していると感じます。恵まれたこの環境を、ぜひ有意義に活用してほしいです。

経営情報学科 5年

井上 向日葵



私はこの度、株式会社カネカ様から内定をいただきました。ここでは、私が就職活動を通じて大切だと思ったことを2つ紹介させていただきます。

1つ目は、インターンシップや企業説明会に積極的に参加することです。実際に社員の方の話を聞いたり、職場の雰囲気を感じたりすることで、自分のやりたい仕事や働き方のイメージを明確にすることができます。興味を持った企業には早めに行動し、実際に足を運ぶことで、自分に合った企業を見つけやすくなります。

2つ目は、面接練習を数多くこなすことです。先生や友人に見てもらい、フィードバックをもとに改善を重ねることで、自分の伝えたいことをしっかり言葉にできるようになります。練習を重ねることで自然と自信もつき、落ち着いて面接に臨むことができます。

就職活動は大変なこともあります。早めの準備と行動が納得のいく結果につながると思います。最後になりますが、悔いのないように自分のペースで頑張ってください。

制御情報工学科 5年

山崎 花帆



私はこの度、インフォコムテクノロジー株式会社様から内定をいただきました。ここでは、就職活動をするうえでやってよかったことを2つ紹介します。

1つ目は早めに行動をする事です。私は4月から選考が始まり、同級生の多くも同時期に選考が始まっていました。いつ始まっても万全な状態で挑めるよう、早い段階で自己分析と企業選びを進め、履歴書の添削や面接対策に取り組むと良いです。特に自己分析は、就職活動の基盤となる自分の軸を作る重要なステップであるため、春期休暇前から進めることをおすすめします。

2つ目は複数の人に相談することです。履歴書の添削や面接練習は様々な人の意見を参考にすることで、改善点や新しい視点に気づけます。特に面接では、当日どんな質問が来るかわからないため、多角的な視点で質問対策をすると良いです。また面接練習の予約は、先生方の都合によってはすぐに取れないこともあるため、最低でも1週間前には相談しておくとういことです。

最後に、皆様の就職活動が悔いのないものになるよう、心から応援しております。

経営情報工学専攻 2年

竹永 姫那



この度、UBE株式会社様から内定をいただきました。私が就職活動で特に大切にしていたことは、「自分をよく知ること」と「早めに行動すること」です。

就職活動を本格的に始める前に、自分の強みや価値観、やりたいことを整理するために自己分析を行いました。その結果、面接で想定外の質問がきても、自分の経験や考えを軸にして落ち着いて答えることができました。例えば、留学経験で直面した困難について質問された際も、ただの出来事の説明ではなく、「その経験から何を学び、今後どう活かすか」を具体的に伝えることができました。

また、自己分析と並行して早い段階から説明会に参加しました。早めに行動することで、多くの社員の方と直接話す機会を得られ、会社の雰囲気や仕事のやりがい、求められるスキルなどを確かめることができます。ネットの情報だけではわからないリアルな視点を早くから得られたことで、企業選びをより明確にし、自信を持って選考に臨むことができました。

最後になりますが、これから就職活動に挑む皆さんの活躍を心から応援しています。

進学活動を終えて

進学編



機械工学科 5年

吉川 隼矢



私は宇部工業高等専門学校専攻科 生産システム工学専攻に進学します。進学活動で私が最も重視していたのは学業成績です。進学先が定まっていなかった段階であっても、成績を高めておくことで将来の選択肢を大きく広げることが可能だと考えていたからです。実際、私は4年生まで明確な志望先が決まっていなかったのですが、成績上位を維持していたことで、多くの選択肢の中から将来を見据えて最適な進路を選ぶことができました。また、学業以外での実績も大きな強みになります。部活動での成果、資格取得、TOEICのスコアなどは調査書や面接で確実なアピール材料になります。私自身、2～4年生の間に複数の資格を取得し、進学時に役立てることができました。さらに、推薦入試で面接がある場合は、先生や友人と練習を重ね、自分の考えを整理して伝える準備をしておくことが大切です。

進学準備は大変ですが、計画的に努力すれば必ず結果につながります。後輩の皆さんも、自分の進路に自信を持って挑戦してほしいと思います。応援しています。

物質工学科 5年

中村 陸



私は広島大学生物生産学部生物生産学科分子農学生命科学プログラムに3年次編入します。将来の目標であるアカデミックの研究者になるまでの過程で、今まで高専で学んできた工学分野から一度目を離し、農学という異なる分野で学び視野を広げたいと思い進学しました。

入試方式は学力選抜のみで、専門科目とTOEICの点数、面接と志望理由書の4つで構成されます。入試問題は主に共通テストなどの大学受験の内容から出題されるため、1からの勉強が必要になり大変でした。TOEICは4年次に行った留学での経験が役立ったと思います。面接については、入学後の研究活動のことや、将来の進路について主に聞かれました。入試対策は4年生の4学期頃から、面接対策は試験のおよそ1か月前から始めました。TOEICは多くの大学で選考に用いられているため、高得点を取っておくことで進路の幅が広がります。

農学部への編入は徐々に減らされており、広島大学でも来年から定員が半分に減らされます。受験をする際は早めにその学校で編入が募集されているかの確認をしておくことをお勧めします。

電気工学科 5年

大橋 敢太



私は熊本大学情報電気工学科電子工学教育プログラムに3年次編入します。高専での学びを通じてシーケンス制御やAIについて興味を持ち、更に学びを深めたいと考えて進学を選択しました。試験本番は面接のみで、面接官も穏やかな方々だったので問題はありましたが、志望理由書の作成はとても苦労しました。

私は高専生活を振り返った時、学生時代に力を入れたことと言えるようなものはほとんどありませんでした。そのため、唯一力を入れていたTOEICと将来的な目標だけで志望理由書を書かざるを得ませんでした。結果として本番では、面接官からTOEICの点数が大学院進学の要件を満たしていることを確認されたときに好感触を得られました。今、進学や就職に向けて何をすべきか分からないという方はTOEICの点数で大学院の入試要件を満たすことを強くお勧めします。

最後に、私のように就活や進学で苦労しなくなければ、日々を浪費していくのではなく、目標をもって高専生活を過ごしてください。その中で自分が本気で取り組めるものが見つければ尚良いと思います。応援しています。

経営情報学科 5年

本田 昇都



私は来年度から九州大学経済学部経済工学科に3年次編入します。3年生の頃にデータ分析に興味を持ち、その分野をより深く学びたいと考えたことが志望のきっかけでした。この進路が最も自分の成長につながると感じたことも大きな理由です。

学校生活では安定した成績を維持するため、苦手科目は早めに克服するよう心がけ、卒業研究でも編入後に続けていきたい研究分野への理解を深めました。

進学活動では、口頭試問と志望動機の準備に特に力を入れました。志望動機は5分ほど話す必要があったため、約4か月間、先生と繰り返し練習しました。面接では、自分の興味、高専で学んだ内容、そして九州大学だからこそ将来像に近づく理由を明確に伝えることが重要でした。

最後に編入学試験は情報が少なく不安もあり、進学活動と授業の両立が大変な時期もありましたが、早めの対策と丁寧な準備が大きな支えになりました。後輩の皆さんも、繰り返し取り組みれば必ず自信につながり、その自信が本番当日の自分を落ち着かせ、実力を最大限発揮させてくれると思います。

制御情報工学科 5年

上野 凱凰



私は専攻科に進学します。学力検査による選抜を受験し、3、4年次に習う専門科目の知識や5年間で培う数学の知識、TOEICを基盤にした英語力も必要になりました。特にTOEICはスコアが350点以上ないと出願資格を得られません。私はTOEIC対策を始めた時期が一足遅く、専門科目と数学の勉強が同時進行となってしまう、苦労しました。研究室の先生や、英語の先生のアドバイスを聞き、TOEIC対策を進めていった結果、無事合格までに成果を出すことができました。TOEICは早めの対策をしておくことをお勧めします。数学は1～5年生までの内容から出題され、応用問題も出題されるため、数学の勉強を最優先し、専門科目の勉強も進めていきました。専門科目の勉強は基本を問う問題が多いため、3、4年生の内容を復習し、基本は全て解けるくらいまで仕上げると思えます。

出願に必要な提出書類も早めに準備しておくことをお勧めします。その書類を準備するために日数がかかることもあるため、提出期限に間に合わない恐れもあります。

総括して言えることは、早め早めの行動をすることです。

生産システム工学専攻 2年

林 洸輝



私は九州大学大学院総合理工学府に進学します。試験は一般試験(筆記・面接)を受験しました。大学院を受験するためには第一希望の研究室への訪問が必須だったため、春休みに自分の興味のある研究室を探し、研究室から出ている論文を読んだ上で訪問しました。

筆記試験の勉強では、九州大学のシラバスから授業で使用されている教科書を調べて購入し、大学のホームページから過去問を手に入れて勉強しました。筆記試験では6割の得点とTOEIC600点が合格の目安と言われていたため、その点数を超えることを目標にしました。

面接では志望理由や希望研究室の選択理由などを聞かれましたが、基本的な質問しかされませんでした。そのため、筆記試験とTOEICの点数が合否に大きく影響していると感じました。

大学院受験は個人戦となることが多いため情報収集が重要になります。大学院受験を考えている場合は試験の1年以上前から準備することを勧めます。

宇部高専は2026年4月に 生まれ変わります!



これからの社会では、**DX (デジタルトランスフォーメーション)** や **GX (グリーントランスフォーメーション)** を支える **情報人材** の育成が急務です。

宇部高専では、すべての学科で情報教育を強化し、
高度な専門力と情報技術力を兼ね備えたエンジニアの育成に取り組みます。



電気工学科 が **電気システム工学科** に進化!

電気分野に加え、情報系の学びも重視した新しい学科へ。



機械工学科 物質工学科 に **情報系コース** を新設!

4年次から専門系と情報系のコースを選択可能に。情報技術も深く学べます。



制御情報工学科 経営情報学科 では

情報分野 をさらに強化!

これまでの情報教育をベースに、より実践的で先進的な内容へと進化します。

POINT!
学科改編と
情報教育の
強化ポイント!

2026年9月 (予定)

情報教育棟

アイ

キューブ

I-CUBE

[IT Cluster UBE kosen]

が新しく誕生!!

令和8年9月、宇部高専に新たな学びの拠点が誕生します。

現在工事が進められている『情報教育棟 (I-CUBE : IT Cluster UBE kosen)』は、3階建ての最新施設として完成予定です。

この新棟では、大学や企業との連携を強化し、より充実した環境のもとで情報教育を推進し、
社会に羽ばたく「デジタル人材」を育てます!

3F 大講義室

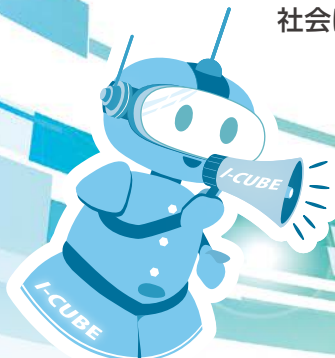
2F
演習室
メタバース環境

1F
演習室
情報教育推進室



未来を切り拓く人材を育てるために

世の中では様々なもののデジタル化が進み、情報人材の必要性が叫ばれています。
宇部高専では、今後、情報人材が圧倒的に不足するといわれている社会ニーズに応えるべく、「高度な専門力」と「情報技術力」を持つ人材を育成し、
未来を支えるエンジニアを輩出していきます。





新任の先生紹介

New Teacher

Welcome!
UBE KOSEN

新たに來られた先生方です。
どうぞよろしくお願いします。

くわはら りえ
桑原 理恵 先生

所属／職名 一般科／助教

専門分野 日本近現代文学



ひとこと（自己紹介）

一般科の国語を担当させていただいている桑原理恵と申します。高専独特の環境や仕事内容に戸惑うことの多い日々ですが、真剣かつ楽しい学びをご一緒させていただければ嬉しいです。夏目漱石、宮澤賢治、遠藤周作、村上春樹、西田幾多郎など日本近現代文学と思想を研究しております。趣味は坐禅・家庭菜園、クラシック音楽や映画も好きです。

ファン ティ
PHAN THI
テュイ チャン
THUY TRANG 先生

所属／職名 経営情報学科／助教

専門分野 マーケティング、国際経営



ひとこと（自己紹介）

6月1日付で経営情報学科助教として着任いたしました、PHAN THI THUY TRANG と申します。専門は企業の現地化戦略、マーケティング戦略などに関する研究です。ベトナムの大学において基礎マーケティングや国際マーケティングなどの科目を担当しておりました。これまでの経験と研究成果を活かし、学生の皆さんが国際的な視野を持ち、戦略的にビジネスを考えるきっかけとなるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

はしもと りょうが
橋本 凌河 先生

所属／職名 物質工学科／助教

専門分野 有機化学



ひとこと（自己紹介）

9月1日付で物質工学科助教として着任いたしました、橋本凌河と申します。専門は有機化学で、特に光を利用した有機合成反応の開発について研究を行っています。学生のみなさんには、「有機化学がわかる！おもしろい！」と感じてもらえるよう、分かりやすい授業や興味を持てる研究に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

ひろなか しゅうじ
弘中 秀至 先生

所属／職名 機械工学科／准教授

専門分野 数値解析、流体力学、移動現象



ひとこと（自己紹介）

令和7年10月1日付で本学の機械工学科に着任いたしました弘中秀至と申します。これまで、流体の数値解析と膜状の材料を製造するプロセスの研究に携わってきました。これからは、学生の皆様が卒業後に社会で幅広く活躍できるよう、勉学のみならずあらゆる場面でサポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

国際交流 活動報告

令和7年度は夏季海外研修等への学生派遣、短期留学生受入などを通じて、学生の語学力向上、異文化理解、協働力を育む国際交流活動を展開しました。これらの取り組みにより、学生たちは世界に挑戦する姿勢や国際社会に必要な実践力を身に付けています。今後も、国際的な学びの場を広げ、学生がグローバルに活躍できる力を育んでいきます。

Report //
01

夏季学生派遣

① 夏季語学研修・海外研修・専攻科海外インターンシップ

夏季語学研修・海外研修・専攻科海外インターンシップに合わせて71名の学生が参加しました。語学研修では、オーストラリア、シンガポール、台湾で語学力や異文化理解力を高めました。また、海外研修・専攻科海外インターンシップは台湾、韓国、マレーシア、シンガポール、ベトナムで実施し、英語を通じて専門分野の学びを深めることで、国際的に活躍できるエンジニアとしての基礎力を磨いてきました。帰国後も成果報告会をはじめ、学内で海外経験を伝える機会があり、学生自身のフィードバックと、学内のグローバル化に貢献しています。



〔韓国〕永進専門大学の仲間たちと



〔オーストラリア〕ニューカッスル大学語学研修発表会



〔台湾〕国立聯合大学海外研修文化訪問ツアー in 国際風箏賽場



〔シンガポール〕シンガポールポリテクニク海外研修



〔マレーシア〕マラ工科大学語学研修



〔台湾〕文藻外語大学語学研修 授業風景





スウェーデンの駅にて



現地サッカーチームの様子

② トビタテ！ 留学 JAPAN 高校生コース

今年度は、「トビタテ！留学 JAPAN 高校生コース」に1名が採択されました。「スウェーデンで学ぶ女子サッカー教育と幸福度の秘訣」をテーマに、サッカーを通じた教育方法と、幸福度の高い社会づくりについて、スウェーデンでの研修を通じて学びを深めてきました。

『トビタテ！ 留学 JAPAN』とは

意欲と能力ある全ての日本の大学生や高校生が、海外留学に自ら一歩を踏み出す機運を醸成することを目的として文部科学省が実施する、官民協働のもと社会総掛かりで取り組む「留学促進キャンペーン」です。

Report // 02

短期留学生受入

短期留学生受入による「キャンパスのグローバル化」は宇部高専の国際交流の特徴的な活動の一つです。今年度も年間を通じた短期留学生の受入を積極的に行い、語学力向上や異文化理解を目的としたキャンパスや寮での交流活動を行っています。

今年度は、前期に台湾の国立聯合大学および文藻外語大学の留学生7名、ベトナムのカオタン技術短期大学、フエ工業短期大学、ベトナム商工短期大学からそれぞれ2名、合計13名の学生を受け入れました。後期には、マレーシアのマラ工科大学から6名、シンガポールのシンガポールポリテクニクから3名、ナンヤンポリテクニクから3名、台湾の文藻外語大学から4名、計16名の留学生が来てくれました。総勢で29名の留学生が来校し、学内のグローバル化に貢献するとともに、語学や専門分野など、それぞれのコースに合わせた取り組みに臨み、充実した成果を上げてくれました。短期留学生は、放課後や休日に学生主体で企画したイベントにも参加しており、日本人学生と幅広く交流を深めています。



白鳥寮における短期留学生との交流会



ニーハロ English/Japanese



異文化体験ツアー in 宮島



短期留学生による学術発表

Report // 03

U-Camp (ユーキャンプ)

2024年から始まった U-Camp を今年度も継続して実施しました。12月15日(月)～20日(土)の放課後および休日を利用して開催しました。今年度から、より学生主体の取り組みとして、学生による計画、企画実行を目標に、国際交流に参加する機会の増加を目指して計画しました。短期留学生と宇部高専生が協働し、学術発表や PBL (Project Based Learning) を通じて国際的な視野と実践力を育みます。

『U-Camp』とは Ube-Camp の略称で、キャンパスのグローバル化を活発化させる目的で、学生を主体とした、学生による学生のための学内イベントのことです。

令和7年度

「高専祭」実施の報告

2025. 11. 8 (sat)

9 (sun)

テーマ

「POP!」



Message



第62回 高専祭実行委員長

小川 葉流 さん

2025 年度高専祭実行委員長の小川葉流です。今年度の高専祭も、学生の皆様、教職員の皆様、学生課の皆様、高専祭実行委員のメンバーなど、多くの方々からの協力もあり、無事に終了できたことを大変うれしく思います。

今年度の高専祭では新しいことをやってみようということで、メインステージの位置を第二体育館からマルチメディア学習室へ移動し、露店の数も増やし、企画も去年の催し物に加え、餅まきや宝探しと称したスタンプラリーなどを行いました。また、小中学生向けの陸上教室、各学科の工学実験、展示などは一般の方に宇部高専を知っていただける良い機会になったのではないかと思います。当日は、学生も一般の方々も皆楽しそうにさせていただいて、とてもやりがいを感じられました。

今年度学んだことを、次世代につなぎ次はさらに進化した高専祭になることを楽しみにしています。最後に、2025 年度高専祭を支えてくださったスポンサーの皆様や、高専祭に関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

機械工学科



JAXA



ルネサスエレクトロニクス株式会社

1日目

・JAXA

2日目

・ルネサスエレクトロニクス(株)
・東京大学 ・皇居
・東京駅
・日本科学未来館
・プラネタリア TOKYO

3日目

・(株) IHI

電気工学科



株式会社 TMEIC 府中事業所



三菱電機ビルソリューションズ株式会社 教育センター

1日目

・TOTO バスクリエイト(株)
佐倉工場

2日目

・日本科学未来館
・グループ自主研修

3日目

・三菱電機ビルソリューションズ(株)
教育センター
・(株) TMEIC 府中事業所

制御情報工学科



ANA 機体工場



朝日プリンテック

1日目

・ANA 機体工場
・ニコミュージアム

2日目

・富士通テクノロジー
ホール
・NTTe-City Labo

3日目

・朝日プリンテック

物質工学科



レゾナック川崎事業所



NIMS (国立研究開発法人物質・材料研究機構)

1日目

・日清オイリオ
・国立科学博物館

2日目

・ファンケル美健
千葉工場
・NIMS (国立研究開発
法人物質・材料研究機構)

3日目

・レゾナック川崎事業所

経営情報学科



大阪取引所



グリコピア神戸

1日目

・大阪取引所
・大阪科学技術館

2日目

・大阪・関西万博

3日目

・グリコピア神戸
・人と防災未来センター

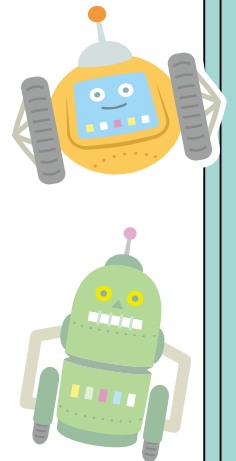
ロボットコンテスト 中国地区大会

自分達のやり方を貫く 宇部高専のロボコン

～ 地区大会を終えて ～

今年度も昨年度からはじめたアイデアコンペ及び試走会を実施した。コンペを3回、試走会も3回実施し、試走会結果から大会出場ロボットを決定した。電気工学科の教員が顧問として加わり、さらに課外活動指導員2名を迎えたことで指導体制が強化され、部活動への参加部員数も昨年度より増加した。

ものづくり工房は大規模な清掃を2年間継続し安全にものづくりができる環境に仕上がり、今年度は大きな事故や怪我はゼロとなった。材料や部品の購入方法も統一したことで会計処理もスムーズとなり問題発生がゼロとなった。徹底したものづくり環境構築を目指して作業服着用、加工ライセンス制などもはじめたが、広く自由として学生自らが安全を考える形にすることにした。



Robot Name

ロッカーお化け

Member

制御情報工学科 3年 木村 晴
制御情報工学科 3年 竹田 光汰
電気工学科 2年 日高 悠斗
電気工学科 3年 nichanan mikawan



Aチームはロッカーがボックスを丸呑みするお化けロボットを目指して作った。

ロボコンに参加して気づいたことは、オフシーズンをいかに上手く使うかということこそが強く、より楽しいロボ研を作る方法だということだ。他高専に話を聞くと、オフシーズンにミニロボコンや、先輩から専門的な内容を教えてもらっているという話が多くあった。だから私

は少しずつでも部の雰囲気を変え、勝てるロボ研を作りたい。ロボットコンテストへの参加は、とても貴重な経験になった。ロボットに対する知識が浅く、モチベーションがそこまで高くなくても、他高専のロボットの工夫のある動きを観て、「自分でも作ってみたい」と感じた。将来はコンテストで活躍できるロボットを自分の力で作れるようになりたい。ロボコン大会に出場できたのも皆さんのおかげであり感謝している。



Robot Name

チンアナゴ

Member

機械工学科 4年 佐郷滉太郎
機械工学科 3年 石丸 蒼空
電気工学科 3年 山村 健斗
制御情報工学科 1年 水本 健太



Bチームはチンアナゴが砂から出てきてボックスを高く積むロボットを目指して作り、特別賞(株式会社デンソー)に選ばれた。

今回ロボコンに初めて参加したが、ロボコンに参加するには覚悟が必要だと思った。放課後や夏休みなどを捧げないといけないからだ。しかしそれだけ価値のある時間であったし参加して良かったと感じている。他高専のロボットを見てレベルが違うと感じた。ロボットコンテ



ストでは、一勝もできなかった。原因は製作後の試走ができず、機構の改善ができなかったことだ。夏休みに入ってから、週4で製作した。アームや土台を作り、本番二週間前ほどから、基盤の半田付け、一週間後にプログラミング、回路を作ることに取り掛かった。本番で動いたことに驚きのある日程だった。練習期間が本番なので力を入れ勝ちを取りにいきたい。後輩の部員たちは、今年たくさんのことを学べたと思うので、それを活かして来年もまた頑張ってもらいたい。

プログラミングコンテスト 全国大会

企業賞受賞!

競技部門



▲大会の様子

チーム名 **E (えれめんとおぶ)**

Member 電気工学科 4年 山本 健一郎
電気工学科 4年 池本 悠生

今年の高専プロコン競技部門は、「工。一縁結びの誘導について」をテーマに、盤面上のペアを一定の操作で隣り合わせに導き、より少ない操作で多くのペアを隣に導けるかを競いました。私たちのチームは、右回転のみという操作の制約に注目して、揃えたペアを崩さないように配置を一周させることを基本としました。その上で、ある程度ペアが揃ったらランダムに様々な操作を試し、手数が多そうなものを省きながら最適な手順を探る方法で大会に臨みました。

1回戦では6位、敗者復活戦では1位で通過を果たしましたが、準決勝で4位、そして決勝進出をかけたラストワン決定戦では惜しくも2位となり、決勝目前で敗退しました。決勝進出には届かなかったものの、他高専との交流を通じてチーム開発における多く学びを得ることができました。加えて、前回大会の経験からトラブルへの対応力を身につけることができました。これらの経験を糧に、来年に向けてさらに精進していきたいと思います。

最後に、これまで私たちを支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

課題部門



▲展示会場での記念写真

Title **NullOto**

— ソフトウェア型
ノイズキャンセリングアプリ —

Member 制御情報工学科 5年 中野 晃聖
制御情報工学科 3年 木村 友亮
制御情報工学科 2年 池本 絃生

私たちは高専プロコン課題部門に、スマホアプリ「NullOto」で出場しました。

今年の課題テーマは昨年に引き続き「ICTを活用した環境問題の解決」です。私たちは身近な環境問題である騒音に注目し、スマートフォンのスピーカーから騒音を打ち消す音を出して、特定の場所の騒音を和らげるアプリを考案・開発しました。

空間を対象にすることや、スマートフォンだけでどこまで実現の可能か、苦労しましたが、試行錯誤を重ねて、私たちらしい解決方法を形にすることができました。

賞の受賞には至りませんでしたが、チーム開発の進め方や問題への向き合い方など、多くの学びを得ました。この経験を生かし、来年度の大会でもさらに良い作品づくりに挑戦したいと考えています。

最後に、これらの活動のなかで、私たちを支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。引き続きご支援いただけますと幸いです。

自由部門



▲受賞後の記念写真

Title **Harmony Analyzer**
— ハーモニーを科学する AI —

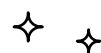
Member 制御情報工学科 4年 荒川 達紀
制御情報工学科 4年 安東 建滋
制御情報工学科 4年 松本 大翔
制御情報工学科 4年 八鍬 青羽
制御情報工学科 4年 山根 誠

私たち5名のチームは「Harmony Analyzer - ハーモニーを科学する AI -」を考案・開発し、自由部門に出場しました。

この作品は吹奏楽で使われる管楽器の演奏を対象に、音程・音量に加えて、従来は把握しづらかった音色まで解析・可視化できるWebアプリです。

チーム全員が本格的な共同開発の経験を持たない状態からの挑戦であり、必要な技術の理解や作業の進め方など、基礎的な部分から学び直す場面が多くありました。

教員の助言を受けつつ調査と試作を重ね、宇部高専吹奏楽部に協力していただきながら課題を洗い出していく過程は、開発に向き合う姿勢を鍛える貴重な経験となりました。こうした取り組みが評価され、企業賞を受賞することができました。活動を支えてくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。



U-16 プログラミングコンテスト 山口大会 2025

令和7年11月15日(土)、本校でU-16 プログラミングコンテスト山口大会 2025 を開催しました。



競技部門



作品部門



▲受賞者勢ぞろい

U-16 プログラミングコンテスト 山口大会 2025 を終えて

令和7年11月15日(土)、本校にてU-16 プログラミングコンテスト山口大会 2025 を開催しました。本コンテストは、16歳以下の児童・生徒・学生の皆さんがITに対する興味を深め将来のデジタル人材育成に繋げることを目的として実施しています。

競技部門では、1対1の対戦型競技「CHaser」を用いた対戦に6名が参加し、優勝は岩国市内の高校1年生で、2～4位

は本校制御情報工学科1年生でした。

作品部門には33名が参加し、ゲームやCG、マイコンやVRなどを題材とした幅広い作品が展覧され、最優秀賞を山口市内の高校1年生が受賞し、その他の作品にも企業賞などが授与されました。

地域共同テクノセンター長 久保田 良輔



各種大会優秀者の報告



高等専門学校体育大会や高等学校の大会、個人で出場した部外大会等における成績優秀者を紹介します。

| 大会名 | 種目 | 氏名 | 結果 | 学科学年 |
|---|---------------------|-------------|-----|------------|
| 第60回全国高等専門学校体育大会兼 第48回全国高等専門学校テニス選手権大会 | 団体 テニス競技 男子団体 | テニス部 | 準優勝 | |
| | 個人 テニス競技 男子ダブルス | 木本 春馬 | 優勝 | 機械工学科 1年 |
| | 個人 テニス競技 男子ダブルス | 石田宗一郎 | 優勝 | 制御情報工学科 1年 |
| | 個人 テニス競技 女子ダブルス | 片桐 葵 | 優勝 | 物質工学科 4年 |
| | 団体 テニス競技 女子団体 | | 優勝 | |
| | 個人 テニス競技 女子ダブルス | 高木 遥楓 | 優勝 | 物質工学科 1年 |
| | 団体 テニス競技 女子団体 | | 優勝 | |
| 第60回全国高等専門学校体育大会兼 第31回全国高等専門学校水泳競技大会 | 個人 水泳競技 女子背泳ぎ 100m | 石川 万葉 | 優勝 | 電気工学科 2年 |
| 第32回全国高等専門学校将棋大会 | 個人 将棋競技 個人戦 | 小倉 暖希 | 優勝 | 制御情報工学科 3年 |
| 第60回全国高等専門学校体育大会 卓球競技 | 団体 卓球競技 女子団体 | 卓球部 | 準優勝 | |
| | 個人 卓球競技 女子ダブルス | 福田 紗菜 | 3位 | 物質工学科 5年 |
| | 個人 卓球競技 女子ダブルス | 中尾 綾乃 | 3位 | 物質工学科 4年 |
| 第60回全国高等専門学校体育大会 ソフトテニス競技 | 個人 ソフトテニス競技 女子ダブルス | 盛岡 七海 | 3位 | 物質工学科 3年 |
| | 個人 ソフトテニス競技 女子ダブルス | 長藤帆乃夏 | 3位 | 経営情報学科 3年 |
| 第61回中国地区高等専門学校体育大会 | 団体 テニス競技 男子団体 | テニス部 | 優勝 | |
| | 団体 バスケットボール競技 女子団体 | 女子バスケットボール部 | 優勝 | |
| | 団体 バドミントン競技 男子団体 | バドミントン部 | 優勝 | |
| | 個人 バドミントン競技 男子シングルス | 杉山 稜太 | 優勝 | 機械工学科 4年 |
| | 個人 バドミントン競技 男子ダブルス | | 優勝 | |
| | 個人 バドミントン競技 男子ダブルス | 藤原 侑大 | 優勝 | 物質工学科 4年 |
| | 個人 柔道競技 無差別級 | 稲田健太郎 | 優勝 | 経営情報学科 4年 |
| | | | | |



第60回全国高等専門学校体育大会兼第48回全国高等専門学校テニス選手権大会
第31回全国高等専門学校水泳競技大会
女子100m背泳ぎ



学生表彰の様子

UBE KOSEN TOPICS

ティーズサイド大学との

2025.10.8 (wed)

学術交流協定締結式を実施しました。



令和7年10月8日(水)、宇部高専とティーズサイド大学(イギリス)は、学生の交流や教員間の交流、共同研究等の推進を目的とした学術交流協定を締結しました。

式典はオンラインで開催しました。宇部高専金寺校長の署名が入った協定書にティーズサイド大学のウォーレン副学長が署名し、今後の交流を深めていくことに両機関が合意しました。式典の後は、画面越しに記念撮影を行いました。

今後は、ティーズサイド大学の物質系の専門分野に本校学生を派遣することから取り組んでいきます。ティーズサイド大学では、本校既存の海外研修の次段階のプログラムを実施します。在学中に複数回海外研修に参加できる機会を提供し、英語力及び研究力のレベルアップができる仕組みを構築します。



宇部高専

Web 案内

HP <https://www.ube-k.ac.jp/>

f <https://www.facebook.com/UbeKosen/>



Web サイト



Facebook



宇部高専 Web サイト、
公式 Facebook にて最新ニュース
を随時掲載！



独立行政法人国立高等専門学校機構
宇部工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Ube College

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14番1号
TEL (0836) 31-6111 [代表] FAX (0836) 21-7117 <https://www.ube-k.ac.jp/>

ご意見・ご要望は
こちら

学校だよりは、学校と保護者の皆様と連絡を密にして、学生の将来のために貢献する広報誌です。
ご意見・ご要望がございましたら遠慮なくご連絡ください。【総務企画係 TEL 0836-35-4963】

イラスト 瀧口 姫咲さん (物質工学科3年)